

和光市廃棄物減量等推進審議会 第6回会議録（要録）

- 1 日 時 平成17年5月19日（木）午後2時00分～午後4時10分
- 2 場 所 和光市役所503会議室（5階）
- 3 出席者（敬称略）
【委員】（会長）西川政晴、（副会長）竹村幸子、（委員）柴田 充、原 光子、
岸 佐登美、志村浩明、井上敬三、
【事務局】市民環境部荒木部長、清掃センター並木所長、資源リサイクル課富澤課長、
リサイクル推進担当田辺統括主査、リサイクル推進担当藤本主事
- 4 欠席者（敬称略） 【委員】尾崎弘子、齋藤和康、伊藤 茂
- 5 傍聴者 4名
- 6 次回開催予定 平成17年6月28日（火） 午後2時～4時30分
和光市役所602会議室（見直し課題・基本方針と発生抑制について）

○西川会長 定刻になったので、第6回和光市廃棄物減量等推進審議会を開催します。先程連絡があり竹村副会長が少し遅れるとのことですが、事務局から報告をしてください。

○富澤課長 欠席の連絡があったのは齋藤委員、伊藤委員で、尾崎委員は連絡はなく、竹村副会長は5分程遅れるとのこと。

次に、提出資料の確認に移り、会議次第、資料16、井上委員からの提出資料で、井上委員の資料は資料16の最後のページの差し替えです。

次に、第5回の会議録の確認について、訂正する箇所等ありますか。（「なし」との声あり）。それではこのままで公開します。

プラスチックリサイクルについて4月23日と5月14日に日本テレビで容器包装プラスチックリサイクルで報道があった。朝霞市が取材対象になっているが和光市の物も同じ再商品化事業者を通じて流れているので、業者から聞き取り調査をしたり朝霞市役所と連絡を取って状況把握をしたものを市議会に報告した。その内容は、現時点の経過ということで、第3回会議で福田商会関係の調査内容を報告したが、今回も同じような結果であり、容器包装リサイクル協会の調査でも報道内容は確認できなかったとの結論ということ。引き続き指定法人が福田商会に対して調査しているとのことなので、結果についてはまた報告します。

○西川会長 プラスチックリサイクルについては当審議会での検討段階になっていないし、私もその報道をビデオで見たが、業界のマニフェストの扱いが簡単すぎるとの感想を持った。詳しくはここでの検討が進んでプラスチックが課題になった段階で審議することとし、今日は次第に沿って進めます。スケジュールについて説明してください。

富澤課長 資料16の最後のページに（案）があり、事務局としては来年3月の第17回で素案を作り上げてもらいたいと考えています。以上です。

西川会長 基本方針について議題とする。前回事務局のたたき台について検討する中で、各委員の案を出すことになって、出されたものが今回の資料としてあるが、感想などを出して欲しい。12ページの計画の位置づけは基本方針とは直接関係はないが、必要があると考え私が作ったもの。資料がなかったので計画や条例等の名称は正確ではな

いので、断っておきます。ごみ集積所についても基本計画の中で検討しておく必要があると思ったので開発指導要綱を挙げて置きました。

それでは提出した案についてそれぞれの委員から説明をしてください。

まず、私から。和光市の焼却灰の最終処分場がりんご畑に隣接している光景を見て、それが頭から離れなくて、和光市民としてこれを課題にすることは避けられないと考えている。また、基本方針なので細かいことではなく循環型社会づくりのために一般廃棄物のゼロをめざすとした。最後の段階では、ごみ問題は市民がまず第一に行動をおこし、市民ができないことを行政がやるということをもっと意識してほしいとの考えに基づいて書いた。基本方針なので取り組みの大雑把な基本的考え方ということです。

岸委員 中段までは、環境基本計画にあった具体的なイメージに向かって、廃棄物行政はすすめる必要があるのではと考え載せてあり、基本方針では、市民は何ができるか一人一人考えて欲しいということで、その目標としてわかりやすいのはゼロ廃棄物であり、基本方針として2つ、循環型社会の構築とゼロ廃棄物への取り組みをあげた。目標値は大雑把に考えたもの。和光市内で出されたごみは市内で片付ける必要があると考えていて、焼却後の最終的に残った灰も市内に埋めて、みんなで眺めながら考えるということ。

柴田委員 下段にあげた、伝えたいメッセージを上段で文章化した。地球環境問題と和光市の問題、そして自らの責任による処理が基本ではあると書いたが、これは実際問題として世界や日本の現状の中で、和光市内だけで完結処理することが環境負荷や費用の点から見て最良なものなのかという疑問がある。その点からある程度広域処理や全体最適を考える必要がある。廃棄物処理が主課題ではあるが、循環型社会を構築して持続可能な社会にしていくというひとまわり大きな枠についてのメッセージを入れている。人類、市民が真に豊かで快適な生活を送るには、廃棄物問題は欠かせないテーマであるというメッセージを入れている。

志村委員 ゼロ廃棄物という言葉にわだかまりがあるので、敢えてゼロ廃棄物は使わないで環境への超低負荷ということにし、それと循環型社会を実現するために何を行うべきかを、前回出された発生抑制、排出抑制、適正処理の項目に分けて取り組みをあげた。排出抑制についてはリユース、リサイクルをふまえて、抑制に限定すれば、経済的手法の導入による減量化ということではごみの有料化ということも考えられる。適正処理については焼却灰の有効利用の量を増やすこと、容器包装プラスチックは現状を見た場合、マテリアルリサイクル中心には無理もあるのでプラスチックと紙を合わせた燃料であるRPFとしての利用も検討する必要がある。分別排出がまだまだ守られていないことやクリーン推進員の活動が見えていないことから、それに関する項目もあげてある。また、広域処理計画を踏まえて熱利用の項目もあげました。

原委員 私は実践面から考えたものをあげた。ゼロ廃棄物は良すぎてすっきりしない感じがあり、志村委員の言葉も良いが、もっと分かり易い言葉がないかと考えているところである。主婦の立場から市にはもっとゴミゴミと大きな声で意識啓発してほしい。出前講座や防災無線広報をもっと活用してほしい。ごみ問題は防災から子育てまでコミュニティづくりの基本となりうる事柄である。「一家に1人の環境大臣」は小学生にとってもうけていたし、クリーン推進員も各家庭から出すくらいの活発な活動が望ましい。ごみ集積所も、いつも汚れているところは廃止するとの警告をするくらい協力にする必要がある。ごみ有料化もこの審議会で詳しく知ることになったが、ごみ減量にはもっと温かい方策を考える必要がある。ごみ問題のネットワークを作れば明るい和光市ができ

と思う。資源物の持ち去りや集団回収補助金廃止の解決策として、年輩者や主婦、子育て中の母親の潜在力を活用として教育的な資金を作ったらどうか。生ごみのリサイクルはごみ減量に大きな効果があるので再構築する必要があるということで、細かいこともあるが書かせて貰いました。

井上委員 市民の立場から考えると、出てきた廃棄物の処理をどうするかという方向に思考がいきがちであるが、廃棄物の発生についてはまず生産者責任という鉄則を認識すべきであるという視点でゼロ・エミッションを入れた。基本方針は基本計画を策定する上で指針・指標となるものなので、計画を立てていく上でわかりやすく示すため箇条書きの私案を作りました。

富澤課長 事務局案は前回で出した資料15をもとに、指摘のあった点を勘案して再編成したものであり皆さんの案をまとめたものではありません。まず和光市がおかれている状況、次に目指すものを挙げてあります。

西川会長 みなさんの案が確認されたが、これをどのようにまとめますか。

竹村副会長 基本方針は皆さんがいわんとするものを大まかなところでまとめ、実際的に和光市が目指すものを発生抑制、排出抑制、適正処理を箇条書きにしていけば良いと思います。

富澤課長 今回皆さんに一生懸命考えて書いて頂いた案なので、事務局がまとめるといってもなかなかまとめきれないため、何人かの委員さんにまとめて頂くというのが良いと思います。

竹村副会長 良い意見がたくさん出されたので、会長と副会長でまとめてたたき台を出し、落ちている点があれば指摘して貰い、整えていくということにしたいと思います。

西川会長 そういうことでよろしいですか。(異議なしの声あり)。次回まとめたものをたたき台として提出します。

次に発生抑制について議題とします。発生抑制という言葉は語感が強くて一般市民には親しみにくいということもあり、適当かどうかの疑義が出されたと記憶しているが、現計画でも使われているのですか。

富澤課長 4月12日付け資料15の裏面2ページの内容は、現計画の5ページに対応しており、それまでの会議で3項目にすることになっていたもので、それに沿って項目を挙げ、3ページでは環境基本計画実行計画で挙げられている検討課題と施策を分類してあります。

発生抑制という言葉は現計画や法律等でも使われています。

井上委員 四字熟語は短く端的で良いのではないか。また、そういう言葉に慣れてもらうということも必要であり、発生と抑制は特に難しい言葉ではない。

竹村副会長 頭書きの方よりも具体的行動に関する記述を読んでもらいたいので、頭書きは端的な言葉の発生抑制が良いと思います。

西川会長 柔軟に考えるということで発生抑制とします。

竹村副会長 リユース、リサイクル、適正処理という言葉が使われており、処理と処分をどう使い分けるのかの問題もあるが、大切なのは市民行動として3R、リデュース、リユース、リサイクルをアピールすることであり、外来語を括弧書きにするか日本語を括弧書きにするかを検討することになると思います。

原委員 発生抑制という言葉で問題ないと思います。

井上委員 責任区分の主役から言えば、大まかに発生抑制は生産者、排出抑制は市民、適正処理は行政ということになる。それぞれが関連、連動していることではあります。

西川会長 一般廃棄物処理基本計画という名から考えれば、出されたごみをどう処理するかということから始まったものだとは思いますが、現在状況からはごみ全体を考え、まず、ごみが出されないようにすることから計画の中に入れる必要があるということになっているのだと思います。

柴田委員 井上委員の考えが基本的な理解の仕方だと思うが、それぞれの項目における主体によって若干言葉の理解が違ってくると思う。適正処理の項で、市民はルールに従って分別排出を行うとなっているが、この後に行われることは行政が分別収集、資源化するのであり、それは排出抑制に関連した内容も含んでいるというように。

冨澤課長 それぞれの項目で各主体のなすべきことが入っており、そしてその3者が絡み合いながら進めていくことでうまくいくのだと思います。

原委員 発生抑制の項で市民の行動が書いてあるが、リサイクル展示場が余りにも小さく、再利用できる家具等が収容できないため壊されているという話を聞くと、展示場のことは考えているのですか。以前市長に要望した時の話では、総合福祉会館という大きな施設ができるので、その一角に設置することを考えているとのことだったが、先日総合福祉会館に行ったときに見たら、それらしきスペースはなかったようなのですが。

冨澤課長 展示場については関連の施策の中で、排出抑制関連の施策としてのっているので、その段階で検討して頂くことになります。

荒木部長 総合福祉会館には展示場は入っていません。

竹村副会長 先ほど配布したパンフ、エコライフハンドブック20～22ページにはごみを減らす方法が非常に分かり易く書いてあり、リデュースについても載っています。

西川会長 発生抑制はごみにしない方策とも言い換えられる。現計画の見直しということでページ毎にやっているが、これにとらわれないで違う形で進めるということも可能です。

冨澤課長 ひとつの進め方として、このページはこのくらいで次に進め、必要があればもどって、行きつ戻りつしながら内容を深めていくということも考えられます。

西川会長 基本方針だけはその後の検討の方向を決めるものなのできちんとしておく必要があるということをやっているが、その後については柔軟に考えても良いと思います。

竹村副会長 資料15の3ページは環境基本計画や実行計画にあげられている課題をピックアップして区分けしてまとめたものなので、一つずつ検討して結論や方向付けをしていけばよいと思います。

西川会長 この頃、生活の中で出てくるプラスチックごみの量が驚くほど多いことを実感していますが。

竹村副会長 コンビニでも生ごみを堆肥化したり、客に手渡すときに電子レンジで加熱する食べ物の保管用プラスチック容器をリユースをするなど、ごみの発生抑制のためにいろいろ工夫している等の話を聞くが、そういう情報が消費者に届いて消費行動に繋がるようにする必要がある。割り箸やレジ袋を断る意識ある学生が増えているという話も聞いています。

井上委員 基本方針のたたき台作成は正副会長二人に一任することが承認されたと認識しているが、各委員案では趣旨はほとんどが似ているが構成は違っているものもあるので、構成についてはどんなものにするのか、委員の意見を聞いておいた方が良い。会長、副会長の考えはまとめる段階で反映できるので、他の委員は、これだけは入れてほしいとか構成はこのようにして欲しいということがあるのでは、と思います。

竹村副会長 資料16の各委員案で、前文は前文、具体的項目は具体的項目で、同じような内容のものを発生抑制、排出抑制、適正処理の項目毎に整理してまとめ、また、文章だけだとわかりにくいのでイラストを入れ、分かり易く構成するのかななどを検討して貰うことを考えています。

志村委員 基本的には現計画の5ページにあるような形になると考えて良いのですか。

竹村副会長 そのように考えています。

富澤課長 各委員案を事務局に集約することになったとき、私は、基本方針の前文があり次に3項目があるという形、志村委員案と同様の形をイメージしていたので、正副会長のまとめ方もこの形まで作って貰えと考えると良いですか。

西川会長 私は前文だけを求めていたわけですが。

竹村副会長 私は富澤課長と同じようなイメージであり、資料16を見て、同じものを分類、整理すればたたき台はすぐできそう、それを検討、欠落しているもの等は指摘してもらえばよいと考えています。

井上委員 前文は理念だけで、その後に具体的方針を書くことにすれば分かり易いし、理念はできるだけ簡潔にと考えている。形としては志村案が良いと思います。

竹村副会長 そのようなたたき台を作り、次回に検討してもらえるようにします。

西川会長 基本的施策項目として3つがあげられているが、発生抑制の中で資料にある以外に検討すべき課題、項目があるか、また各項目の中にあげられているものが分類として適当であるかどうかも含めて意見を出して欲しい。発生抑制の中で事業者・生産者の責務としてどんな項目を入れるべきかとの問題は出されています。

竹村副会長 生産者は製品の誕生から廃棄まで、LCAというのだが、それを公開し、消費者がそれを見て選択できるようにし、消費者は環境に良い物を買うことによりそういう生産者を応援する、小売業者もそういう物を仕入れて販売するようになれば環境にやさしい社会ができるし、消費者基本法で消費者も環境を考慮した生活をする事になっているので、商店もこの流れに参加すべきだと思います。

西川会長 和光市商工会の会員がどのような取り組みをしているのか知りたい。マイバッグを配るにしても、特定の店名が入っているのは他店では使いにくいので、商工会で和光市内全店共通に使える物を作ってくれば有効なごみ減量になると思う。ただ、それを使って個人的にどんなメリットがあるのかという問題もあります。

竹村副会長 毎年、消費者展を開いており、そこでマイバッグを無料配布しています。

富澤課長 資源リサイクル課でも毎年200個くらい配布していて、アンケートで意識調査もしたことがあります。

志村委員 レジ袋は販売店の万引き防止の観点から必要であるという話を聞いたことがあり、そうすると普及に難しさがあると思います。

西川会長 私の行きつけの店ではレジ袋をもらわないとハンコをくれるのだが、レジを通るまでは店の籠に品物を入れ、レジが終わった段階で店のレジ袋をくれたり断ったりして、その後で袋に入れているので、警備上の問題は起こらないものと考えています。

竹村副会長 チェーンストア協会との話し合いの中では、警備関連の話は出なかったし、一枚数円の費用がかかるのでできれば止めたいが、袋持参の客は数%しかいないためサービスでやらなければならない。レジ袋よりも商品の包装を減らした方がごみ減量の効果が上がるとのことだった。勤め帰りに買い物をする人にとっては、マイバッグを持ち歩かねばならないことにより有料化の方が良いという人もいます。

柴田委員 仕事上、企業の環境担当者と話す機会が多いが、包装は商品の安全性や消

費者ニーズの点から、減らしたくてもなかなか減らせないと話を聞いている。欧米の店では商品が包装なしで展示や引き渡しが行われていることを経験したり見聞したりするが、日本の文化や生活感覚は少し違うということもあると思います。

岸委員 基本方針の前文は似た内容が多いと思うし、見直している計画はごみ処理の基本方針なので、生産者責任についてはこの計画の外にあると思っているが、それをどこかに盛り込んで、ごみ処理だけでないという意志を表せれば特徴ある計画になると思う。事業者といえば生産者も含んでいるが、和光市の実状では販売店が大きな割合を占めていると思います。

竹村副会長 地方分権の観点からは、和光市ではこれこれですよという規制的内容を入れてもよいのではないか。鮮度保持財を使った商品について、東京都は規制が厳しく埼玉県は緩いので埼玉県で売るという話を聞いている。同じように和光市民は環境にやさしい商品を積極的に買うことにしています、ということアピールする内容があっても良い。和光市内にも農業生産者や製造業者もいるので、限定しなくても良いと思います。

井上委員 生産者責任といっても、自動車メーカーなどがリサイクルし易い車を設計するという点まではこの基本計画の中に入れられない。過剰包装をしないという段階のものなら入れられると思いますが。

西川会長 発生抑制の中に、この程度のことなら実際にやれるというようなことを入りたい。最終的に和光市ではこういうようにしますということにできればよいと思う。メーカーにおける大きなごみの減量化は日々進められていて、我々市民の生活に関わる食品や身の回りの物については進んでいないという状態だと思います。

富澤課長 会議時間についてだが、これまで1時半から4時までだったのが2時からになったので4時半終了にすることも可能です。

西川会長 次回は、発生抑制のために身近な身の回りでできることを各委員から出してもらおうこと、それに関連した行政でもっている情報、データも出してもらいたい。先日のエコイベントでも、生活や身の回りに関連した内容のブースが少なく、大手メーカー等のものが多く目に付いたが、ごみにしないためにどんなことができるのか、洗いざらい出してまとめていきたい。宿題であるたたき台もまとめておきます。

次回会議は、6月議会が終わる23日の翌週火曜日、28日2時から4時半にします。

柴田委員 基本方針のたたき台を会議録に同封してもらえれば各委員が事前に検討できるのでそのようにしてほしい。

竹村副会長 そのようにします。

6月6日環境協会の主催でドイツのブルーエンジェルのマーク、日本のエコマークと似たもので、その効果についてのフォーラムがあるのでお知らせします。

岸委員 前回話した「プラスチック分別収集の効果は」の講演会のチラシができたので配布する。市役所職員の話もあるので是非参加してください。

富澤課長 環境展が5月24日から27日まで東京ビッグサイトで開かれ、その無料入場券があるので必要の方には差し上げます。

西川会長 本日はこれで閉会とします。(閉会午後4時10分)